

⑥ 半固形化栄養剤

ゼリータイプの栄養剤で、そのまま注入できます。

半固形ラコール300g (300kcal) 医薬品では唯一の半固形化栄養剤です。液体のラコール同様、医師に処方してもらいます。注入専用のアダプターもあります。(アダプター70円は自費購入)

ハイネゼリー300g (300kcal) 315円・ハイネゼリーアクア250g (200kcal) 230円。大塚製薬のホームページから購入できます。

- ★ ここで紹介したもの以外にも、半固形化剤や半固形化栄養剤はいろんなメーカーで取り扱っています。インターネットで調べることができます。体調、体質にあった半固形化栄養剤を選んでください。



大塚製薬HPより抜粋

寒天レシピ (ラコールの場合) 病棟編

- ★ 病棟では、火が使えないので電子レンジで作ります (寒天の量は、固まり具合や便の状態をみて増減します)



ラコール 200ml お湯 50 ~ 60ml ぱぱ寒天 2g 1包の3分の1包
または介護食用ウルトラ寒天 2g

- ① ラコールを電子レンジで沸騰寸前まであたためます (750ワットの電子レンジで1分30秒から2分位)。沸騰させないように気をつけてください。パックのままでは電子レンジでは温められませんので容器に移してください。容器もとても熱くなるので気をつけましょう。ほ乳瓶を使うときは、ふたをゆるめておかないとほ乳瓶が爆発することがあります。また、沸騰させてしまうとほ乳瓶からラコールが吹き出ることがあります。
- ② 白湯を容器 (どんぶり) にあけて、容器ごと電子レンジにかけて80度以上のお湯をつくります。ポットのお湯でも大丈夫ですが、容器もあたためておかないとお湯がすぐ冷めてしまいます。
- ③ 容器 (どんぶり) に、寒天をいれて、すみやかにしっかりかきまぜて寒天をとかします。
- ④ 寒天がとけたら、あたためておいたラコールを一気にいれて混ぜ合わせます。このとき溶け残っている寒天がないようにしっかり混ぜ合わせてください。
- ⑤ 冷蔵庫で冷やし固めます。
- ⑥ 注入前に電子レンジであたため、くずしてシリンジで吸い上げて注入します。

- ★ ダマが出来て均一に固まっていない時などは、そのまま電子レンジにかけて寒天をもう一度とがして、冷やすと再び半固形化します。
- ★ 急いで半固形化したいときは、冷凍庫で冷やして下さい。

- ★ ぱぱ寒天は煮溶かして使用することもできます。また、ラコールはパックごと湯煎にかけることも可能です。
- ★ 寒天を用いてラコールを半固形化する場合は、介護食用ウルトラ寒天などの介護食用寒天のほうが扱いやすいですが、価格は、ぱぱ寒天や一般的な煮溶かして使用するタイプの粉末寒天よりやや高めです。
- ★ 栄養剤の加熱による成分変化、特にビタミンの崩壊が気になるころですが、80℃加熱後6時間でビタミンB1は加熱前の88.2%に減少しますが、それ以外のビタミン (ビタミンA、B2、Cなど) は変化しないことが確認されています。



3) こども病院での半固形流動食短時間摂取法 (ミキサー食) の進め方

1: 初回外来 (ミキサー食開始を希望して外来受診した日)

- ① 食事を開始する前にアレルギーが疑われる場合 (アトピー性皮膚炎、気管支喘息などがある、家族にアレルギーの人がいる、など) は、事前に血液検査を行い、結果を参考にすることができます。ただし、検査が陽性であっても症状が出ないことも多くあり、検査値のみですべてが判断できるわけではありません。では、実際にどのように食事をすすめたらよいのでしょうか? 赤ちゃんが離乳食を始める際、血液検査を行ってからでないと食事を開始できないわけではありません。少しずつはじめて大丈夫なら量を増やしていきます。胃ろうから食事を始める場合でも、初めての食材は、少量から始めて、だんだんと増やしていくと進めやすいでしょう。
- 検査する場合
特異的IgE (マルチアレルゲン): 卵白・牛乳・小麦・ピーナッツ・大豆
ミルク・カゼイン・卵黄・バナナ・ジャガイモ・タラ・ゴマ・大豆・米・マグロ・さけ・鶏肉・牛肉 など

- ② しおりやDVDを使ったミキサー食の概略の説明
- ③ 栄養相談 (ミキサー食の作り方、すすめ方)



2: 初回外来後からミキサー食を開始します。

(例) 1kcal/ml ラコール 200ml を 1日 5 回胃瘻から注入している患児
(=1000kcal/日、1000ml/日)

- (1) 米アレルギーがないことを確認後
1回 50ml の全粥を 1日 1 回から開始。2 ~ 3 日間行って問題なければ
- (2) 1回 100ml の全粥を 1日 1 回行う。2 ~ 3 日間行って問題なければ
- (3) 1回 150ml の全粥を 1日 1 回行う。2 ~ 3 日間行って問題なければ
- (4) もともとの 1 回分の注入量 (この場合は 200ml) まで、2 ~ 3 日おきに 50ml ずつ増量していく。

